



きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)~

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

地域に応援され育っていく子どもたち（2）

校長 海江田 なぎさ

1月も、保護者・地域の皆様には、様々な御協力をいただき、ありがとうございました。インフルエンザが流行していますが、大きな変更なく、3年生の私立受験、2年生の館岩少年自然の家の宿泊学習、1年生の上野・浅草校外学習を実施することができました。これも、御家庭の御協力のおかげと感謝しております。

さて、中学生になると、地域とのつながりは、小学校の頃に比べると少なくなりがちです。しかし、子どもが地域に支えられて育つという視点は、忘れてはならない視点です。このことは、昨年の大久保地区体育祭や大久保神社社叢のクリーン活動で強く感じましたが、今年に入ってからも、いろいろな大人が子どもを支えてくださっているということを再確認する機会がありました。ここでは二つのことを書かせていただきます。

一つ目は、大久保公民館が「災害に負けない地域づくりに寄与する公民館」として文部科学省による「第77回優良公民館」を受表彰した報告会でお話を伺ったことです。公民館というと大人の学習場所というイメージがありますが、地域の防災上の課題を子どもにも考える機会をもってもらうことを目指し、中学生が忙しいということにも配慮しながら、催し内容を工夫してくださっているとのことでした。学校で行っている防災学習と関連付けて、公民館や地域の自治会の活動に参加することができれば、生徒の防災意識をさらに高めることができると感じました。この他にも、公民館では、育成会主催のオセロ大会で、中学生がボランティア活動を行う機会などもいただいています。公民館を通して中学生がより広い視野で社会を見ることができるようになればと思います。

二つ目は、埼大通りにある無料塾「ひこざ」を見学し、お話を伺ったことです。地域等の支援・協力を得て、地域のボランティアスタッフと埼玉大学教育学部等の学生のサークル「ひこざらす。」が協働で運営し、10年になるとのことでした。当日は、夕方、学習を教えるボランティアの学生さんたちが10人ほど集まって、これから訪れる子どもたちを出迎える準備をしていました。小中学生にとって年の近い大学生と落ち着いて学習ができる場所であるとともに、安心して過ごせる居場所にもなっていると感じました。

2月も保護者・地域の皆様の御理解・御協力を賜りながら、充実した教育活動を目指してまいります。今月も、どうぞよろしく願いいたします。